

※ 未提出者への督促後に新たに提出（入力）されたレポートも含めた集計結果です

設問 1（授業科目名・クラス名）

設問 2（科目コード）

設問 3（回答者名）

※ 以下、各選択肢の右に該当クラス数を記す。（全回答数に対する回答率も附記）

A（問 4～13）：授業担当者として教授技法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し、次の①～④のうち該当する丸数字を選んでください。 ①:あてはまる ②:ややあてはまる ③:あまりあてはまらない ④:あてはまらない

設問 4 シラバスに沿って授業を行えた。

①:50 (66%) ②:18 (24%) ③:8 (11%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 5 学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。

①:51 (67%) ②:20 (26%) ③:4 (5%) ④:0 (0%) 未回答:1 (1%)

設問 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。

（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）

①:49 (64%) ②:19 (25%) ③:8 (11%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 7 重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。

①:47 (62%) ②:18 (24%) ③:8 (11%) ④:1 (1%) 未回答:2 (3%)

設問 8 学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

①:40 (53%) ②:28 (37%) ③:8 (11%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 9 受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）

①:51 (67%) ②:19 (25%) ③:3 (4%) ④:0 (0%) 未回答:3 (4%)

設問 10 受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。

（発問への回答を学生に求めた/学生からの質問・発言を促した/学生の理解度を確かめながら進めた

/学生の授業への能動的な参加（アクティブ・ラーニング）を促した 等）

①:51 (67%) ②:22 (29%) ③:2 (3%) ④:0 (0%) 未回答:1 (1%)

設問 11 授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。

①:36 (47%) ②:35 (46%) ③:2 (3%) ④:1 (1%) 未回答:2 (3%)

設問 12 総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。

①:35 (46%) ②:29 (38%) ③:9 (12%) ④:0 (0%) 未回答:3 (4%)

設問 13 シラバスに掲げた当初の授業目標（ねらい）は達成された。

①:34 (45%) ②:39 (51%) ③:3 (4%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

B (問 14~18) : FD活動についてお尋ねします。

設問 14 この授業科目に関してこの1年間取り組んだFD活動を選んでください。(複数回答可)

- ①他教員の授業参観： 33 (43%)
- ②学内外のFD講演会等への参加： 31 (41%)
- ③他大学のFD活動の視察： 15 (20%)
- ④その他： 21 (28%)
 - ・・・「教育系の学会でのFD関連プログラムへの参加」11クラス、「The Japan mooc の受講」5クラス、「教員との情報交換」2クラス、「教材研究」、「授業内容の点検」、「小中高での授業参観」
- 未回答： 22 (29%)

設問 15 今後取り組もうと考えているFD活動を選んでください。(複数回答可)

- ①他教員の授業参観： 32 (42%)
- ②学内外のFD講演会等への参加： 44 (58%)
- ③他大学のFD活動の視察： 21 (28%)
- ④その他： 20 (26%)
 - ・・・「教育系の学会でのFD関連プログラムへの参加」10クラス、「The Japan mooc の受講」5クラス、「関連授業の指導法等に関する資料の収集」2、「教員との情報交換」2、「小中高での授業参観」
- 未回答： 14 (18%)

設問 16 昨年度も同一科目を担当した方は、前年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

該当するクラスのうち、 回答：30クラス（順不同）

- [1] 楽しくやれたのが何よりです。
- [2] 今年度は単語力に加え、リスニング力強化のテキストを選びリスニング強化に努めた。・・・2クラス
- [3] 授業外学習時間確保とリスニング強化を図るためのディクテーションを毎週行った。・・・2クラス
- [4] 学生の「学修時間」を増やす試みとして、音声を moodle で配信し、毎時ディクテーションを課した。
リーディングプロジェクトを通してのクラス内コミュニケーション強化のため、学生間のコメント状況を moodle を通して公開した。
リーディングプロジェクトに「Question」を設け、学生間のコミュニケーションを促した。
・・・2クラス
- [5] 英語プレゼンテーションの項目を新設した・・・2クラス
- [6] 学生の解剖実習スケジュールに沿って行った・・・医学部2クラス
- [7] グループ活動を少し増やしたがまだ十分とはいえない。
- [8] グループ学習は、よい効果があるようだ。ただ、話し合う時間を長くとることができると思う。
- [9] グループ学習をここ数年とりいれていて、良い効果がある。
使った教材は好評だったようである。
- [10] 学生のレベルに基づき、本授業では、英語の文法面の理解も確実にするようにしている。いわゆる「和訳」のマイナス

面を、「グループ単位」でオンラインで各グループの和訳を皆で検討するシステムを使い、一定の効果があったと考えている。

[11] 説明がより明確になるよう、ポイントの明示を心がけた。また、学生の口頭での答えや説明がクラス全員に共有されるよう、必要に応じて書き言葉による表現をオンラインで共有した。

[12] リスニング力と会話力を高めるため新しい教科書を導入した。

[13] 昨年度は時事英語に特化し、新聞記事（英語）を中心に扱ったが、その反応があまりよくなかったこと、理解度が低かったことを踏まえ今年度はテキストを中心にして文法の基礎付き事項などを扱えるようにしたこと。

[14] 昨年の反省を踏まえ、文法中心の Text を使用したが学生によっては簡単すぎたのかと思った。

[15] 受信型として読解と作文を主とする科目だが、作文までは手が回らなかった。寧ろ、英語を聴いて内容を理解して答える、更に英語の読み方の基本的な練習を主眼に授業を構成した。

また 1 課は授業で取り上げ、もう 1 課は予復習を兼ねて自宅学習に充てて英語に触れる時間を多くするように試みた。

[16] ほぼ全部の時間英語を用いて授業を行ない、学生への刺激とすると共に、時事的な賛成反対の両意見が可能なテーマに関してグループ別にテキストの内容に基づいて英語で議論する（英語を実際に使う）ことを狙った。

実際には、1 課の練習が豊富で、それをこなすのにかなりの時間を取られ、議論するところまでは行けないことも多かった。

学生の英語力にも個人差があり、語彙力文法力も未だ未だ不十分なため、英語を用いて自分の意見を表明する、いう満足な発信型のレベルまで持って行くのは至難の業である。課題は実に多いと感じるが、引き続きこの方向で行くか、もっと英語そのものの構造やパタンの練習を中心にした授業形式に変えるか、考えて行きたい。

[17] There aren't any appropriate ESP textbooks for Agriculture Students.

[18] I decided to use "lecture style" to see if students would respond positively. "Lecture style" means I did most of the speaking and writing on board, and students listened and took notes for quizzes. This was an experiment to see if students would respond to this method as compared to my previous method.

[19] 昨年はプロジェクトベースドラーニングを取り入れて複数のプロジェクトを完成させたが、今年は担当科目が増えたため、テキストを導入し、ごく一般的な語学の授業の形態だった。・・・4 クラス

[20] TOEIC スコアはあまりいい結果を出すことができませんでしたが基本的な学習法を指導し今後につなげることはできたと思います。

[21] The school should help us attend EFL teaching Conferences. ... 2 クラス

設問 17 自分の授業の評価できる点や反省すべき点、或いは、この FD 活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。

回答： 43 クラス（順不同）

[1] 昨年まで取り入れていたグループ活動で、途中でグループメンバーが授業に来なくなったり、グループの仲が険悪だったり、問題もところどころ見られたため、ペアを組ませて数回単位でパートナーを交代するようなシステムを取り入れてみた。じっくりと人間関係を築き上げることはできないが、パートナーが欠席しても別のパートナーと組むことができると、仲が悪くなるほど深く付き合わないため、「外れ」パートナーと当たっても「今回だけ我慢すればいい」という割り切った雰囲気ができ、全体を通じて活気のある授業運営になった。ただ、できればクラスメイトとぶつかりながらもそれを乗り越えて協力するような雰囲気のクラスづくりが必要だとは感じる。・・・4 クラス

[2] 授業初日と最終日に同じ題でエッセイを書かせることにより、自分の変化を知ることができるようにしているのは好評なので、今後も続けたいと思う。一見あまり変化がないように見える学生へのフォローが課題である。

[3] 授業の評価出来る点は、学生のニーズに応えるため、パソコンの動画や身近な物を使って興味を持てるような内容の授業が出来た。

反省点としては、学生に宿題以外の課外課題を出さなかった為、自主学習の時間が少なかったように思われる。

・・・4クラス

[4] 授業の評価出来る点は、学生に異文化や海外の事情などを伝えた。モチベーションの向上するため、パソコンの動画やクイズを導入した。さらに、学習に対する態勢を整えるためのエクササイズプログラムを利用しました。

反省点としては、学生に宿題以外の課外課題を出さなかった為、自主学習の時間が少なかったように思われる。

また、TOEICの練習をするため、ペアワーク及びグループワークの学習形式をあまり実施しなかった。

[5] 語学学習にはできるだけ多く目標言語に触れることが大切である。そのための学習への動機づけ、知的好奇心を刺激する目的から、リーディングプロジェクトを行っている。学生一人ひとりが自ら英語で書かれた記事を探し出し、読むといった活動を数年継続しているが、このプロジェクトに関しては概ね学生からの反応は良いと思われる。しかし、昨年度より1クラスの学生数が10名近く増加したため、授業内でその他の活動（解説、ディスカッション、ライティング等）を行う時間の確保が困難になってきている。このプロジェクトを継続しつつ、その他の活動を行える方法を模索中である。・・・2クラス

[6] 日々のニュースで聞く単語をピックアップし、学生に提示し毎回的小テストで定着するよう努めた。・・・2クラス

[7] 学習記録シートを毎週提出させることによって、個々の学習状況や課題点を把握し、またアドバイスやコメントをつけて返却しコミュニケーションを図るように努めました。・・・2クラス

[8] 学生の英語力レベル差が思ったよりも大きかったためテキストを難しく感じた学生も見受けられ、結果としてスコアアップにつながりませんでした。

ただ、基本的な学習方法は伝えられることができたと思っています。

[9] アクティブラーニングを取り入れている。・・・2クラス

[10] 英語学習者から英語ユーザへの脱却、を主眼として、グループで英語のスキット（4回）を作り、発表させる学習を行わせた。英語に苦手意識のあった学生も、楽しく、意欲的に参加できた点では大きな成果であった。それぞれのスキットでは、ある特定のコミュニケーション方略を使った表現を入れることを条件に、日本文化や地域的话题をとりあげて活動させたのは効果的であった。後半は少しマンネリ化の傾向があったので、どのように発展的に活動を積み上げていくかが今後の課題である。

[11] 地域や日本人・日本の文化について英語でグループでプレゼン（3回）させ、アウトプット中心の英語学習を行った。学生は概ね意欲的に取り組み、学生の成果は大きかったが、そもそも人前で発表することが苦手な学生がいたことなどがあり、今後は、より個人差に配慮して、より構造化した授業を展開していこうと思う。

[12] 今回、やむを得ず、急な休講を行ったため、シラバス通りにすすめることができず、学生に迷惑をかけた。今後、もうすこし余裕を持った計画を立てたい。・・・2クラス

[13] 期末テスト結果を見ると、満点をとっている学生がいる一方で、点数が伸びていない学生もおり、もうすこし学生全体を引き込む工夫が必要と感じた。

[14] 農学部学部生のためのクラスは実質初めて担当した。試行錯誤を続けながらの授業展開となった。40人近くの人数で、アクティブラーニングの要素を入れるべく、授業中にパソコンでの情報共有も活用した。しかし、教材はテキスト中心であり、学生の関心をうまく引き出せていないと感じる局面もあった。後期は学生の個別的な関心をもっと引き出す授業にしていきたい。

それから、1日3コマの授業も今回が初めてだったが、物理的に授業時間がかかる以上に、内容の異なる3コマを1日分準備し、機器も異なる授業を展開するには細心の準備が必要で、その点に困難も感じた。

[15] 初めての農学部1年生担当であり、試行錯誤で授業を進めた。もともとあった工学部向けの内容・教え方をベースにしたが、授業をする中で、何度も調整が必要となった。本クラスでは、より学生の個別的な興味を生かすことと、学習量を増やす必要があると考えている。今後の課題としたい。

[16] 同名の科目名で開講されている「英語 A3a(3)」の、中位クラスだった。最上位クラスと共通する教材を用いたため、レベル的に難しく感じる受講生がいることを認識し、できる限り調整をするべく試みたが、必ずしもうまくいかないケースもあった。そもそも教材を自作しながらの授業運営であったが、教材が固まってきた段階で、レベル調整をしっかり行っていきたい。

[17] 新設の科目であり、また農学部の最上位クラスであったため教材選びには、大きな注意を払った。TED を中心に教材を自作して臨んだ。全てがうまくいったとは思わないが、少なくとも部分的に学生の専門的関心につながる部分もあったと認識している。今後、科目としての統一性と効率性を増し、充実をはかっていきたい。同名で開講されている科目との共通性もはかっていきたい。

[18] 留学生に授業に入ってもらうことで、お互いの異文化を学ぶ活動を行った。日本人学生、留学生両方に高く評価された。反省点として、留学生の数、授業数、授業形態、時期などを考慮すべきであることが挙げられる。また、留学生への報酬との兼ね合いも考慮が必要であることがわかった。

[19] 授業の終了後に学生に意見を聞いたり質問に答えた。

[20] 準備不足の感じがある。

[21] 学生のアンケートを見てもっと満足できる授業に持って行けるよう後期はもっと工夫したいと思います。

[22] English ライティングの指導→課題&テスト→モデルアンサー&学生の模範解答 クラス全体で繰り返していくことで、ライティングの伸びが見られた。

ペアワークを多く取り入れたが、席順を決めていなかったため毎回時間を要してしまったので改善していきたい。

個々の学生とコミュニケーションを積極的に図り、信頼を得られるような授業を展開していけるよう努力していきたい。

[23] レベルにあった授業にはなっていると思うが、学習量を確保するという点で課題がある。今後、その点を取り組んでいきたい。

[24] 通期担当クラスですので、後期に軌道修正して基礎力を固めていこうと考えています。

もっと基本的なことから学習する必要があるレベルだということに途中で気づきましたが、大きな軌道修正ができませんでした。

[25] 昨年の経験に基づき、より学生のニーズを把握できたと思うが、そのため授業展開はスムーズだったと思う。ただ、自己学習の促進・サポートが課題である。

[26] It seems that students did not respond positively to "lecture style". My previous class focused on communication and speaking among the students, which the students appeared to enjoy more than the "lecture style" this time.

[27] 授業外での学生の取り組みに学生間で非常に差があったのを正當に評価するべきであった。

[28] 評価の 50%を TOEIC IP で測定するという初めての授業で、かつ、定期試験より数週間前に成績の半数が決定してしまうという形式で初めて臨んだ授業だった。この授業を担当する全体のシステムの整備や非常勤の先生方へのフォローに追われ、自分のクラスの準備はあまりできなかった。

どうしても問題をひたすら解かせる形式になってしまうので、モチベーションが高い学生には効果があるが、TOEIC の難易度の高さについてこられない学生には諦めムードが漂い、授業の運営は大変難しいと感じた。

[29] 評価の 50%を TOEIC IP で測定するという初めての授業で、かつ、定期試験より数週間前に成績の半数が決定してしまうという形式で初めて臨んだ授業だった。この授業を担当する全体のシステムの整備や非常勤の先生方へのフォローに追われ、自分のクラスの準備はあまりできなかった。

このクラスは、クラス分けテストを受けておらず、かつ、1 年次の授業で再試験や出席不足になった学生を集めたものであったため、他の担当クラスに比べて授業態度も大変悪く、出席率も悪かった。TOEIC の難易度が高すぎるせいか問題を解く際にも諦めた様子が見られた。

[30] Part time teachers are not paid enough. The school should help us learn more to be better teachers. . . . 2 クラス

[31] FD 活動とは関係ないが、授業中に大音量で歌が聞こえたり試験時にも聞こえたりするのはあまり好ましくないのではなかろうか？ 学生の興味を引くためには有効な手段かもしれないが、他のクラスに配慮していただきたい。

設問 18 FD 活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

提出ファイル： なし

C (問 19~21) : 中期目標・中期計画のうち「コミュニケーション能力の育成」についてお尋ねします。

設問 19 授業に「コミュニケーション能力の育成」を考慮した内容が含まれていますか？

①はい： 61 (80%) ②いいえ： 5 (7%) 未回答： 10 (13%)

問 19 で「はい」の方は問 20、21 にお答えください。

設問 20 下記のどの点を重視しましたか？（複数回答可）

- ①聞いて理解する： 44 (58%)
- ②読んで理解する： 51 (67%)
- ③自分の考えをまとめて話す： 33 (43%)
- ④自分の考えを文章にまとめる： 29 (38%)
- ⑤討論する： 12 (16%)
- ⑥皆の前でプレゼンテーションする： 21 (28%)
- ⑦その他： 14 (18%)

・・・「Role Play」4 クラス、「ペアワーク」2 クラス、「文章を読んで質問を作り互いに質問し合う」2 クラス、
「読んで理解したことを要約して書く」3 クラス、「読んで要旨を伝える」、
「相手意識をもって発表し、聞き手（読み手）はリアクションを返す」、「日常会話」

未回答： 14 (18%)

設問 21 「コミュニケーション能力の育成」に関して具体的な取り組みがありましたら、記述してください。

回答： 34 クラス（順不同）

[1] 毎授業時間にテーマを設定し、ペアワーク及びグループディスカッション・プレゼンテーションを積極的に取り込んで授業を行う。・・・4 クラス

[2] 英文を読んで、自分のことば(英語)でまとめ、それを発表するという活動をさせた。また、ポスター・内容・音声・姿勢・協力、の5つの観点で相互に評価させることによって、自らの発表の質を意識させる取り組みも行った。

[3] リーディングプロジェクトでの発表後、発表に関して全員がコメント用紙に記入し発表者に提出する。その後、発表者はクラスメンバーのコメントに「コメント返し」を行う。それらの内容を Moodle を介して学生が共有できる取り組みを行った。

リーディングプロジェクトに「Question」を設け、学生間のコミュニケーションを促した。

・・・2 クラス

[4] 毎授業時間にテーマを設定し、ペアワーク及びグループディスカッション・プレゼンテーションを積極的に取り込んで授業を行う。

・・・2 クラス

[5] プレゼンテーション原稿を完成させることよりも、質疑応答が課題であることから、質疑応答へのステップとして質問を作ることから始めた。通年の授業のため、全員が確実にこられるよう、前期は「本文を読めば答えられる質問」、「本文を読むだけでは答えられない質問」と2種類の質問を作らせ、最終的には全員が質問を作れるようになった。後期は相手の発表に対して質問ができる能力を育成

していきたい。・・・2 クラス

[6] 授業前後にできるだけ学生と英語によるコミュニケーションに取り組んだ。・・・2 クラス

[7] 英語の基礎的な部分を理解しながら、「コミュニケーション能力の育成」の素地を作ることを目指した。可能な限りで、写真や図を用いて、英語で話す機会を設け、口頭でのコミュニケーションに自信が持てるようになることも目指した。

[8] 英語の基礎を理解したり、簡単な会話をできるだけ取り入れることにより「コミュニケーション能力の育成」を目指した。

[9] グループ学習を主体とする授業構成により学生間のコミュニケーション能力を高めるとともに、語学を通して異文化の学びを深めることができるような取り組みを行っている。・・・2 クラス

[10] 留学生と英語でコミュニケーションを図ることで互いの異文化について触れる貴重な時間となった。

また、グループ学習が中心であったため、日本人学生間でのコミュニケーションも必要とされた。発表形態、グループ編成を工夫し、グループ内またはグループ間の協力が必要な体制づくりを行った。

[11] 英作課題を出し、共通の間違いを PowerPoint にまとめ確認させました。

プレゼンの前段階として、発表の時はできるだけ大きな声で答えるよう徹底した。

[12] 学生の発表に対するコメントを、他の学生から引き出すことで、コメント力を養成できたと思う。

[13] 3 回に 1 度の割合で、グループ内で、英語によるプレゼンを行ってもらい、お互いに学びあうことを奨励した。

[14] 毎回時事英語を課題に取り上げその課題の内容についてペアトークやグループトークを英語で行う。

プレゼンテーション(4~5 人の小グループ単位)を取り入れ学生が自分たちで英文・映像を準備し発表する機会を設ける。

[15] 毎回、授業開始時にペアによる日常会話のディスカッションを入れ、とにかく易しい内容を英語で発話する機会を増やす。

[16] 英語によるオリジナルなスキットを作成して発表する

[17] 専門に関係するトピックの高度な英語プレゼンテーションを題材に、発信のヒントとなるべく、指導を行った。構成に関する理解を深めるため、書き言葉によるエッセイライティングも行った。全体的に英語による「コミュニケーション能力の育成」の素地を作ることを目指した。

[18] 内容的に高度で多様なプレゼンテーションを聞き、スクリプトを使って理解を深め、特に構成面に注意を払った。最後にはエッセイライティングも行った。専門にかかわる「コミュニケーション能力の育成」の素地を作ることを目指した。

[19] 希望者のみ面接。

[20] リスニング力を鍛えるため、ディクテーションなどに取り組んだ。

[21] TOEIC レベルのリスニングが困難な学生が多かったため、基礎的な語彙力を身に着けることに重点的に取り組んだ。

[22] TOEIC 問題文には英語での実用的表現が多くそれを実際に発話させることで、会話力養成も意識してきました。

[23] TOEIC の授業のため問題を解く方にウエイトを置いたがその中で学生の意見も参考に毎回、数分様々な日常的話題を英語で話すペアワークを実施。

[24] 英語の文章を英語で要約するスキルの育成に取り組んだ。

[25] 書き言葉による、英語の理解と、それをを用いた表現にフォーカスし、「コミュニケーション能力の育成」にもつとめている。

[26] 書き言葉による英語のリテラシーを身につけることを通して、全体的な「コミュニケーション能力の育成」につながることを目指している。

D (問 22~25) : 中期目標・中期計画のうち「地域を教材とする基礎教育/共通教育プログラム」についてお尋ねします。

設問 22 授業に「地域（宮崎）を教材とする」内容が含まれていますか？

①はい： 5 (7%)

②いいえ： 57 (75%)

未回答： 14 (18%)

問 22 で「はい」の方は問 23～25 にお答えください。

設問 23 その内容を授業に取り上げるおよその回数を選んでください。

- ① 1～5 回： 2 (3%) ② 6～10 回： 1 (1%) ③ 11～15 回： 1 (1%)
未回答： 72 (95%)

設問 24 「地域」のどのような分野を取り上げていますか？（複数回答可）

- ① 歴史・文化： 4 (5%) ② 政治・経済・産業： 2 (3%) ③ 自然環境・フィールド体験： 4 (5%)
④ その他： 5 (7%)・・・「食」2 クラス、「習慣」2 クラス、「行事」
未回答： 48 (91%)

設問 25 「地域を教材とした基礎教育/共通教育プログラム」に該当する特色ある活動がありましたら、記述してください。

回答： 1 クラス

[1] I use classical stories from the Miyazaki region for students to read in English for various tasks.

[2] 特に取り上げないが、“My Hometown”や“I Recommend”などのエッセイライティングで宮崎のことを書く学生が必ずいるので、宮崎について互いから学ぶ機会がまったくないわけではない。